

学会からのメッセージ：世界中で紛争が引き起こしている「負の連鎖」を断ち切ろう

ミャンマー、アフガニスタン、エチオピア、ウクライナ、スーダン、そしてイスラエル・パレスチナなど、世界各地では今この時も、大規模な紛争が続いています*。

この世界では「誰ひとりよりのこされない」と謳う SDGs の理念と逆行する状況が起こっています。この状況は本学会のミッションである「格差の是正・縮小」と逆方向の事態であり、けっして容認することはできません。特に紛争地において、戦時においても保護されるべき病院や医療施設・難民キャンプも攻撃の対象となり、母子を含む本来まっさきにまもられるべき人たちも多く犠牲になっていることは、ジュネーブ条約に謳われている人道的見地からも許されない事態です。

私たち日本国際保健医療学会のメンバーは長い間、世界中の国・地域でグローバルヘルスの課題にみんなで取り組んできました。各国の紛争地には私たちの親しい友人や同僚が暮らししており、彼らの安全を祈らずにはいられない毎日です。

私たちは世界各地において、そして日本においても、以下の事項に留意し、行動します。

- 避難している方たちの、心身の健康の確保につとめること、
- 日本社会において、各国の深刻な保健医療課題を正しく伝え続けること、
- 日本に在住する外国人への中傷や攻撃、外国にルーツを持つ子どもへのいじめなど、バッシングの連鎖を止めること、
- いかなる国の人たちにも保健医療サービス等に関して不公平な対応をとらないこと、
- 全ての必要な人たちに対する十分なメンタルケアの提供を支援すること。

学術の世界においては、人類が一丸となって取り組むべきグローバルヘルスを含む地球規模の課題解決のために、全ての科学者のアイデンティティをまもり、研究者間の科学的なコミュニケーションを継続することを大切にしたいと考えます。

世界各国の紛争地で、今この時をひとりひとりの命をまもるためにがんばっている全てのみなさん、

私たち日本国際保健医療学会のメンバーは、できることはわずかですが、みなさんのことを常に心配し、みなさんを想って日々を過ごしています。この「負の連鎖」を断ち切って再び共に働ける日が早く来ることを願っています。

グローバルヘルスに関わる者たちとして、健康の前提条件である「平和」を希求し、地球上の資源が健康と平和のために適切かつ公正に使われることをいっそう訴え続けていきたいと思えます。

* Obermeier AM, Strand H, Berry G. Trends in State-Based Armed Conflict 1946-2022. Conflict Trends 1-2023. を参照